学校だより　　2025／2／3

豊西小だより

笠井中校区目指す子供の姿
「自分自身を大切にし、自分を取り巻く人や地域に進んでかかわる子」

浜松市立豊西小学校　ホームページ　豊西小　検索　第１１号

「夢をもち ともに未来を切り拓く子」育成のためのアンケート集約結果について

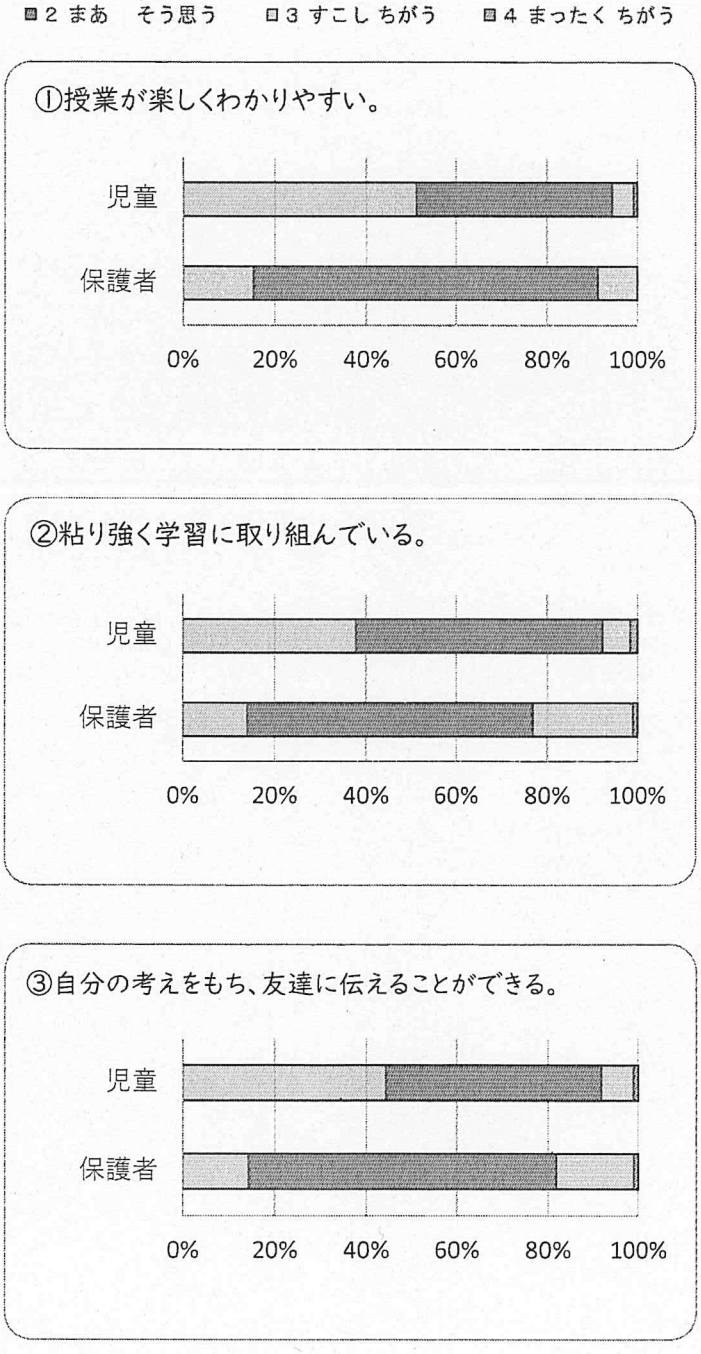
2学期末に実施したアンケートにつきましては、御協力をいただきありがとうございました。集計結果を見ますと、本校の教育活動は前回と同様、全体としておおむね良好な状態であることが分かりました。日頃の教育活動におきましては、保護者の皆様の御理解・御協力をありがとうございました。今後も学習活動、生徒指導等でより丁寧にきめ細かく支援していきたいと考えます。

Ⅰ 「学び合う子の育成」（知）

設問「授業が分かりやすい」については、児童・保護者ともに 90%以上がおおむね達成できています。また、保護者の回答との間に開きはあるものの、児童の回答は、設問「粘り強く学習に取り組む」「自分の考えをもち友達に伝えることができる」についても、90%以上がおおむね達成できています。これらの回答は、学年別にみても全学年で 90%以上の達成率となっています。

2学期は、職員同士で授業を見せ合う研究授業を行ったり、子供たちの協働的な学びとなるような授業を検討したり、職員の研修を重ねてきました。子供たちが「やってみたい」「できるようになりたい」と思うようなゴールを見通せる単元計画に沿って、粘り強く学べる励ましや、意欲を持ち続けられる学習支援を、今後より一層充実させて、授業の質の向上を目指します。

自由記述では、タブレットの持ち帰りと、総合的な学習の時間の内容についての御意見をいただきました。タブレットの持ち帰りは、今後、定期的に行っていきます。タブレット持ち帰りの日には、教科書などの荷物を極力減らして負担を軽減していきます。総合的な学習の時間については、地域の特性・地域の人材の上に、貴重な学びの機会とたくさんのお力添えをいただいております。身近にあるからこそできること、身近にありながら体験できなかったこと、みんなで一緒に体験すること、を体験させていただいています。地域の御協力に感謝するばかりです。保護者の皆様におかれましても、子供たちの学びのために協力していただけることがありましたらぜひお知らせください。



2 「認め合う子」の育成（徳）

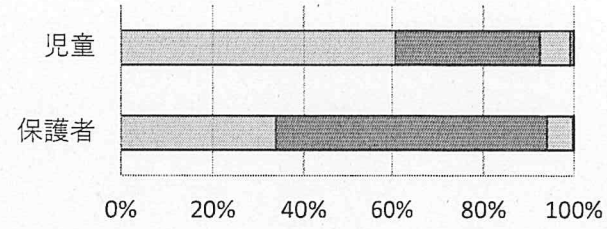
□1 とても そう思う　▨2 まあ　そう思う　□3 すこし ちがう　▨4 まったく ちがう

設問「学級は安心できて楽しい」「自分の仕事を友達と協力してできる」については、児童・保護者ともに 90%以上がおおむね達成できているとの回答でした。一方で、「進んで挨拶している」では、おおむね達成できていると回答する児童・保護者は、ともに前期よりも下回り、児童で88%、保護者で74%という結果となりました。

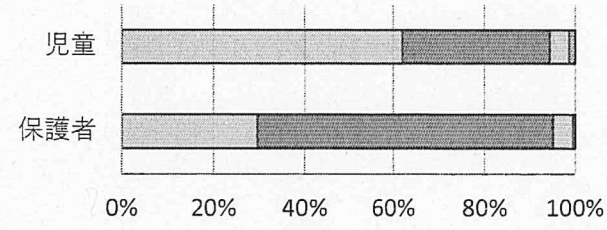
2学期、企画委員会の児童を中心に「とよにしミッションプロジェクト」を行い、1週間ごとに、「自分から」「〇人に」「登下校中の地域の人に」など挨拶のポイントを絞って取り組みを呼び掛けました。挨拶の場面を意識付けることはできましたが、まだ十分な定着ができたとは言えないようです。今後は、職員もより意識を高めて、挨拶が自然に交わせる豊西小学校を目指していきます。

自由記述では、低学年でお子さんの語彙がまだ少なくて、うまく言葉を選んで伝えることができなかったり黙ってしまったりすることを心配される声がありました。特に低学年のうちは、自分の思いを的確に表現する言葉をうまく選べなかったり、相手に伝わりにくかったりして思いが行き違うことがあります。子供同士の衝突を解決する場では、教師がそれぞれの思いを聞きながら、言葉や表現の仕方を正したり言い換えたりします。道徳の学習では、「役割演技」で設定場面をペアで演じて、言葉を選んだり気持ちを考えたりしながら関わり方を学んでいきます。御家庭でお子さんの気持ちを受け止める際にも、いろいろな言葉に言い換えながら、語彙を増やす機会としていただけたらと思います。

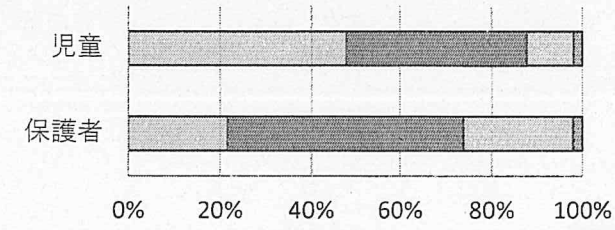
④学級は安心できて楽しい。



⑤友達と協力して活動できる。



⑥進んで挨拶している。



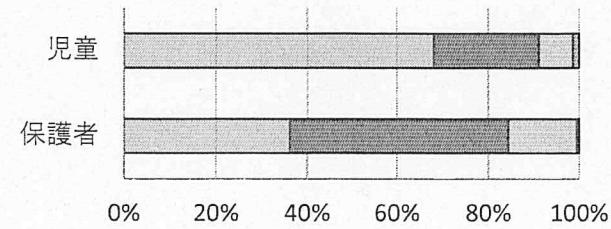
3 「高め合う子」の育成（体）

□1 とても そう思う　▨2 まあ　そう思う　□3 すこし ちがう　▨4 まったく ちがう

設問「運動することが楽しい」については、児童・保護者ともに 80%以上がおおむね達成できています。一方で、設問「感謝の気持ちを待って食事している」「自分の心と体の健康に気をつけている」では、児童・保護者の回答に開きが見られました。さらに、設問「困ったときに誰かに相談できる」は、児童の肯定的な回答が、すべての設問のうちで最も低い結果となっています。

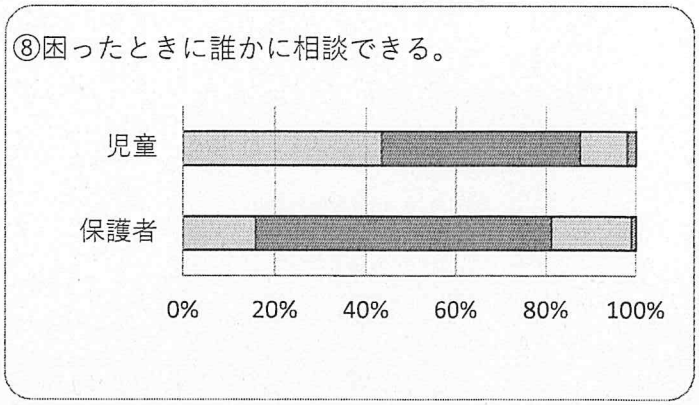
このことから、子供たちが、自分の心と向き合い、気持ちをコントロールしたり、それを誰かに相談したりできる力を育てることが必要であると考えます。「心の日」や保健行事、日々の学校生活の中で、それらの力を高めていけるような取り組みを進めて、子供たちの心の安定を図

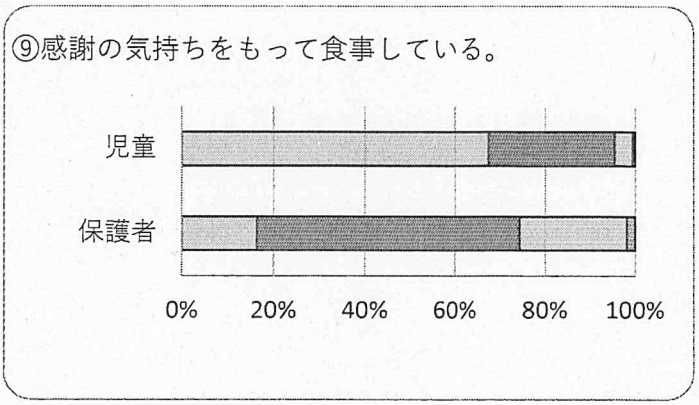
⑦運動することを楽しんでいる。

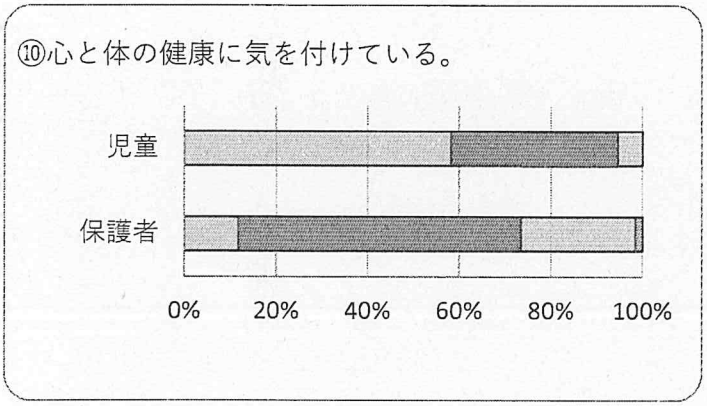


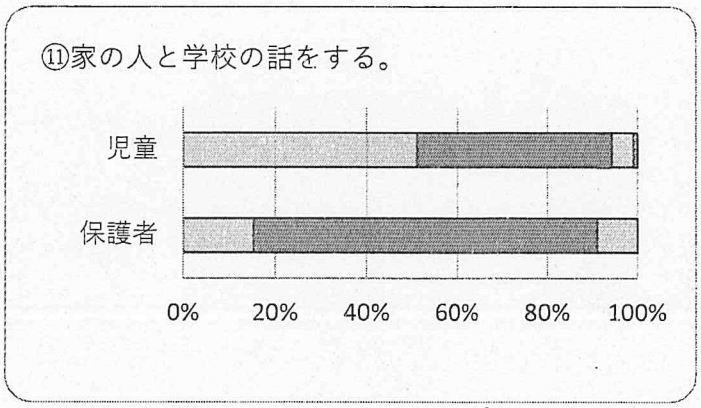
る力を伸ばしていきます。

自由記述では、特久走記録会の開催方法、給食指導、クラブ活動についての御意見をいただきました。持久走記録会は、スポーツフェスタと同様、体育行事の一つとして「友達と関わりながら、運動に親しむこと」を目指す行事です。自分にちょうどいいペースで一定時間走り続けることは、個別最適な課題と言えます。ですから順位付けは行いません。また、記録には残りませんが、今日はどの辺りまで走れたか、と子供たちは感覚的に伸びを実感しています。子供たちが、励まし合いながらベースを保って走り続ける姿を応援していただけたらと思います。給食指導では、自分が決めた量を食べきることを目標とした指導をしています。家では箸をつけない食材に、学校では挑戦できるという子はたくさんいます。ぜひ励ましたり褒めたりしてあげてください。クラブ活動は、共通の興味・関心をもつ異学年交流の場となるよう設定しています。年間4回の限られた時間の中ですが、子供たちが楽しみながら活動できるよう努めてまいります。









□1 とても そう思う　□2 まあ そう思う　□3 すこし ちがう　□4 まったく ちがう

4 その他

とよにし発表会の観覧、大谷グローブ、行事の御案内、学校からの発信についても、御意見をいただきました。

とよにし発表会では、PTAのお力を借り、受付や会場の入退場の誘導を行っていただき、円滑に進行することができました。ありがとうございました。放送が聞こえにくかったこともあってか、保護者の入れ替えが徹底されていなかったとの御指摘がありました。次回は、放送や表示等で分かりやすい案内を目指します。保護者の皆様もぜひ御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

昼休みの運動場では、全校児童がそれぞれ自由に遊ぶ中で、豊西小学校では安全上キャッチボールができないルールです。大谷グローブは、休み時間に職員室でさわるか、体育の授業で、ソフトボールをするときに交代で使っていきます。

学校行事については、4月に配付する年間計画が基本となっています。日課表と合わせて御覧いただき、開催時刻の目安としてください。詳細については、1カ月前を目安に発信する案内文書や学年だよりなどで御確認下さい。なお、それぞれの御案内はさくら連絡網で配信します。必要に応じて保存や印刷を行ってください。また、学習で使う持ち物は、準備期間を考慮した上でお伝えしております。しかし、学習中に子供が自分で考えて新たに必要なものが出てくることもあります。急な場合で御準備が難しい場合には担任まで御

相談ください。

日々の子供たちの学習や行事の様子については、ブログや懇談会等でお伝えします。設問「家の人と学校の話をする」では、児童・保護者ともに90%の肯定的な回答がありました。学校での様子について御家庭でお話する際に、ブログを通して他学年の行事も話題にしていただけたらと思います。懇談会では、写真と合わせて児童の様子を担任からお伝えします。なお、行事の様子をタイムリーに伝えてほしいという御意見もありましたが、子供たちの安全管理や指導を優先させると、御要望にはお応えできかねることを御理解下さい。

今後も、さくら連絡網は、御家庭への連絡の他、健康チェック、アンケートなど双方向の重要な手段となります。2 学期には急な下校の連絡にすぐに回答をお願いしたものもありました。3学期は学級閉鎖の判断や通知をスムーズに行うことができました。そこで、保護者の皆様は、さくら連絡網の通知がなるべく確実に御家族のどなたかに伝わるように、①複数の方の受信登録をしていただくこと、②アプリのアイコンは目につくところに配置して通知にすぐに気付けるようにしていただくことをお願いします。

自由記述欄では、本校職員への感謝や労いのお言葉もいただきました。職員一人一人の努力が、保護者の皆様に届いていると感じられることは、私たち職員の大きな励みとなります。ありがとうございます。この他、保護者の皆様からいただいた御意見は、前期にいただきました御意見とともに、職員の中で共通理解し、現在検討中の次年度の教育課程編成に反映させていくところです。今後も子供たちの安全で楽しい学校生活につなげていけるよう努めてまいります。引き続き、豊西小学校の学校教育に、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

豊西小学校
教務主任　川合 幸恵

別紙2

令和6年度　学校運営協議会による学校関係者評価(まとめ)

【良い点】

○高学年では教科担任制が取り入れられ、工夫された授業が行われている。自分の考えを相手に伝えようとする積極的な姿は、意欲をもって学習に取り組む姿と感じられた。中学年では児童が互いに教え合う姿が見られた。低学年では教師が寄り添い、丁寧に授業が進められている。子供たちの興味や関心を大切にしながら授業が行われている。発達支援級では個に応じた課題設定がされていた。先生方の授業改善への意欲が伝わり、情緒的に安定した雰囲気の学級が増えている。

○いつ来校しても廊下や階段が綺麗で整備されている。職員・用務員問わず、明るく温かい対応をしている。

○先生の言葉使いが丁寧で子供の意見を尊重していた。またICTへの取り組みも盛んで様々な授業でタブレットが活用されていた。子供たちのプレゼン力が向上していると思った。タブレットの持ち帰りが進んでいると聞いた。他校の様子を聞いて心配していたが安心した。

○発達支援教室では子供たちが主体的に真剣に取り組み、個性を伸ばしてくれる指導が行われていた。

○授業参観では下級生は明るく元気で、発表している子の方を体ごと向いて聞いている姿が素晴らしかった。児童が楽しそうなのが何よりである。先生方が良い雰囲気を作り一体感を感じた。

○朝の挨拶については声が大きくなってきていると感じる。委員会活動などで「あいさつ日本一」に向けて工夫した取り組みがなされているとのこと。校外や他の時間に会っても気軽に挨拶や声を掛けてくれる子が増えているのは嬉しいことである。ただ、できる子とできない子の差が大きい。学校の教育方針に沿って、地域に守られ、先生やPTAに守られて子供たちが育ってきていると感じる。

○いじめ対策委員会が毎月開催され、いじめ対応の進捗状況を確認したり情報共有がなされたりしていることが確認できた。重大案件はないとのことだが、今後も丁寧な対応をお願いしたい。不登校傾向の児童への対応も大変ありがたい。ただ、先生方の負担が大きいと感じる。

【改善点】

○ICTの導入により、タブレットで調べることが多くなっている。図書資料の活用も折に触れて行っていきたい。また、書くことが減ってしまってはいないだろうか。発達段階に合わせた計画的な指導を望む。

○いじめ対策について、話を聞いたが細かな情報についても学校運営協議会委員と共有してもらいたい。

○いじめアンケートの取り方は大丈夫か。子供たちが率直に回答できるようになっているだろうか。無記名方式やアンケート項目の再考も。

○物価高騰のあおりが様々なところで出ている。校外学習や修学旅行などのバス代があがっているため、実施方法や行先などの検討が必要である。

○学校運営協議会の持ち方について、子供たちと接する機会や先生方・PTA役員との懇談の機会が設定できると協議の質が高まると思う。

別紙３

令和６年度　学校運営協議会による学校関係者評価を受けて
～来年度の教育活動に向けての改善方策等について～

○授業改善については引き続き、教師の主体性を高めながら行っていく。キャリア教育と結び付けて学ぶ必要感のある単元構想や学習展開の工夫ができるよう研修を深める。
○いじめ対策について、自校のいじめ防止等の基本的な方針に基づいて、迅速かつ誠実な初期対応がチームでできる体制を整えている。子供の普段といつもと違う言動を見落とさないよう、いじめ等の実態をしっかりと把握するよう努めている。まずは学年で共有し、生徒指導主任・教務主任・関わる先生と話し合い、管理職に報告。会議の中で全職員に共有し以前の経過報告もする。双方の保護者へも指導やケアの方法も含めて報告する。６年間データで閲覧できるようになっている。
○「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、ＩＣＴは一つの手段であるとの認識で効果的な活用を図りつつ、対話を通した学びを大切にしていく。
○各種アンケートについては内容や方法について改善・検討していく。
○学校行事については、目的をはっきりさせ、方法や内容について熟考し、予算の適正執行に努められるようにする。
○学校運営協議会については、学校と委員とのさらなる信頼関係を構築し、緊密に連携していく。また、夏季休業中に委員と教職員との懇談の機会を設定する。